

会 議 録

名 称

令和元年度 川口市防災会議

日 時

令和2年2月12日（水） 14時00分～15時15分

会 場

南消防署横曽根分署 3階会議室

出席者

- 1 防災関係機関（国、県、公共機関） 26名出席
※ 欠席1名（東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社東川口駅）
 - 2 自主防災組織・学識経験者 6名出席
 - 3 市関係者（市長、両副市長、水道事業管理者、病院事業管理者、常勤監査委員、教育長、消防長、各部長等） 30名出席
- ※ 傍聴者 なし
※ 出席者名簿（資料参照）

概 要

- 1 開会（14時00分）
- 2 市長挨拶
 - 平素より市政運営へご協力をいただき、厚くお礼申し上げる。
 - 阪神・淡路大震災から25年、東日本大震災からまもなく9年、熊本地震からまもなく4年、平成30年7月豪雨から1年半が経過する。
 - 10月に上陸した台風第19号では、日本全体で死者99名、行方不明者3名、重軽傷者約380名、住宅の全壊約3,200棟、半壊約2万9千棟と甚大な被害が発生し、本市からは、埼玉県坂戸市、東松山市、千葉県館山市、富津市、福島県いわき市など多くの市に応援職員を派遣した。
 - 本市においても、台風第19号の上陸に伴い、軽傷者1名、住宅の全壊3棟、半壊3棟、床上浸水91棟、床下浸水53棟などの多くの被害が発生しており、罹災証明書の交付や災害廃棄物の収集など、被災された方への支援業務を実施した。
 - 各地で浸水被害は発生したが、従前からのインフラ整備により大規模な面的被害を免れることができた。
 - 多くの避難者が発生したが、避難の際に各自で食料等を準備することや、自家用車を予め別の場所に停車するなど、今後はこれまで以上に市民の自助の意識を高めるための啓発が必要である。

- 今後とも防災・減災対策に取り組んで参るが、行政と関係機関の連携が重要である。忌憚のないご意見を頂くとともに、本市防災力の充実強化について、引続き協力をお願いする。

3 議長の指名 → 会長 奥ノ木市長

4 議事

- (1) 川口市地域防災計画の一部修正（案）について・・・資料1－1
資料1－2

事務局から説明。

修正部分の概要を説明し、資料を机上配布。

告示を行うとともに埼玉県に報告し、修正内容をホームページにアップする旨を説明。

※ 質問・意見等なし

- (2) 令和元年台風第19号の被害状況について（報告）・・・資料2
事務局から説明。

※ 質問・意見等なし

- (3) 令和元年度川口市総合防災訓練について（報告）・・・資料3
事務局から説明。

【意見】

(川口市自主防災組織女性部員連絡会 座長)

→防災訓練は震災を想定しているものばかりなので、水害を想定した訓練を開催してはどうか。

(会長 川口市長)

→ご意見を参考に検討させていただく。

- (4) 第41回九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）
令和2年度埼玉県・川口市総合防災訓練について（報告）

・・・資料4－1

・・・資料4－2

事務局から説明。

※ 質問・意見等なし

5 その他

【意見】

(東日本旅客鉄道株式会社大宮支社川口駅 駅長)

→台風第19号の際には、避難指示の解除が速やかに行われたため、関係施設等の点検を行い運転を再開することができたことから、市に対し改めて御礼を申し上げる。

- 3月8日に予定している川口市消防防災フェア2020について事務局から説明。

【質問】

(川口市消防団 団長)

→フェアでは消防団の車両を展示することになると思うが、どこに配置されるのか。チラシを見た上では「消防団」という記載が見られない。

(事務局)

→チラシ裏面の車両展示エリアに配置することになっており、表面の協力団体の一覧には川口市消防団の名前が記載されている。
また、当日は、車両展示エリアに看板を設置する予定である。

6 閉会(15時15分)